

Ehime Bench 2 Bedside Meeting

Bench-to-Bedside, Bedside-to-Bench:
基礎と臨床を繋ぐ

2020年11月30日(月)18:30~20:00

愛媛大学医学部内 40周年記念講堂

東温市志津川 Tel. 089-964-5111(代)

COVID-19の感染拡大防止のため、ご講演はリモートでの実施となります。
学内聴講者は、現地またはリモート、学外聴講者は、リモートでのみの参加となりますので、
予めご了承をお願いいたします。リモート接続の方法については、裏面をご参照ください。

【特別講演1】

18:30~19:10

愛媛大学大学院医学系研究科 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学 特任講師 **青野 潤** 先生

動脈硬化合併心房細動患者の治療を考える

徳島大学大学院医歯薬学研究部 心臓血管病態医学分野 特任准教授 **福田 大受** 先生

経口血液凝固阻害薬(DOAC)の登場以来、非弁膜症性心房細動患者における血栓塞栓症管理は、大きな変貌を遂げた。最近では、冠動脈疾患合併心房細動患者の抗血栓療法をどうするかに関心が集まっており、いかに出血リスクの減少と血管イベントの減少を両立させるかが議論されている。一方で、血液凝固因子は血液凝固を促進するだけでなく、プロテアーゼ活性化型受容体(protease activated receptor, PAR)を介して様々な生理活性を持つことから、血液凝固因子と慢性炎症性疾患との関係が注目されている。本講演では、血管イベントの減少の観点から、リバーロキサバンの抗動脈硬化作用について、我々が行った基礎研究の結果を中心に紹介する。

【特別講演2】

19:10~20:00


愛媛大学大学院医学系研究科 循環器・呼吸器・腎高血圧内科学 教授 **山口 修** 先生

Senolysisによる生活習慣病治療の開発

順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科 教授 **南野 徹** 先生

加齢に伴って生活習慣病の罹患率が増加し、その結果、虚血性心疾患や脳卒中の発症の基盤病態となっている。健康寿命を短縮しているこれらの疾患は、多くの高齢者において共通に認められることから、老化の形質の一部として捉えることができる。すなわち、これらの疾患の究極的な治療のターゲットは、寿命を調節する仕組みそのものかもしれない。このような現状で、老化・寿命のメカニズムの解明に関する研究は、最近20年間で飛躍的な進歩を遂げている。老化のメカニズムについては諸説あるが、そのひとつが「細胞老化仮説」である。近年、動物モデルにより老化の分子メカニズムが明らかになり、老化や加齢に伴う疾患において、細胞老化シグナルの重要性が示唆されている。さらに最近、老化細胞除去(Senolysis)によって、病的老化形質が改善することが示されている。そこで今回は、老化細胞を標的とした抗老化治療の可能性について議論してみたいと思う。

(※) この講演は、大学院特別講義として、認定されています。大学院生は、当日配布されるレポート用紙に講義概要等を記述し、当日会場にて提出してください。2点満点で採点されます。

主催:  バイエル薬品株式会社

視聴予約サイト

https://bayer.zoom.us/webinar/register/WN_0QxtLSWhSbmByXiPw5eekw

上記URL または右のQRコードから、事前に会員登録(初回視聴時)と視聴予約が必要となります。視聴予約の完了後、ご登録のメールアドレスに視聴用URLが送信されます。



※こちらのURLやQRコードから、直接視聴することはできません。

講演会当日は、受信された視聴用URLからサイトにアクセスされて、ご視聴を開始してください。

視聴方法に関するお問い合わせは、090-5123-6967 (担当: パイエル薬品 森山)

ご質問について

当日、インターネットを通じて、質問を受け付けます。お寄せいただいた質問は、ご講演の最後に演者の先生より、直接ご回答いただく予定です。

演者紹介

福田 大受先生 徳島大学大学院医歯薬学研究部 心臓血管病態医学分野 特任准教授



略歴:

1997年3月 大阪市立大学医学部 卒業
 1997年4月 大阪市立大学医学部附属病院 循環器内科(旧第一内科) 入局
 1997年5月 大阪市立大学医学部附属病院冠疾患集中治療部 研修医
 1997年11月 淀川キリスト教病院内科 研修医
 1998年5月 馬場記念病院内科 研修医
 1998年11月 大阪市立大学医学部附属病院第一内科 研修医
 2003年3月 大阪市立大学大学院医学系研究科博士課程(循環器病態内科学) 修了
 2003年4月 徳島大学大学院医学系研究科循環器内科 客員研究員
 (2005年10月 ヒューマンサイエンス振興財団リサーチレジデント)
 (2006年4月 日本学術振興会 特別研究員)
 2007年9月 ハーバード大学医学部ブリガム・アンド・ウィメンズ病院循環器科・リサーチフェロー
 (2008年9月 日本学術振興会 海外特別研究員)
 2012年4月 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部心臓血管病態医学分野・特任講師
 2015年1月 徳島大学大学院医歯薬学研究部循環器内科学分野・特任講師
 2016年11月 徳島大学大学院医歯薬学研究部心臓血管病態医学分野・特任講師
 2019年7月 現職

所属学会:

日本循環器学会(四国支部評議員)、日本心臓病学会(FJCC)、
 日本動脈硬化学会(評議員)、日本血管生物医学学会(評議員)、
 日本心臓血管作動物質学会(評議員)、日本内科学会、日本炎症再生学会、
 American Heart Association(FAHA)、European Society of Cardiology(FESC)

受賞歴:

2004年 The CCT 2004 Award for Excellent presentation (Complex Catheter Therapeutics)
 2005年 大阪市市長賞(大阪市医学会)
 2006年 Intervention Research Award(日本心臓血管インターベンション学会)
 2007年 Young Investigator's Award(日本循環器学会)
 2010年 Young Investigator's Award(International Society for Applied Cardiovascular Biology)
 2012年 The 2nd Annual Obesity Research Incubator Session Award (The Cardiovascular, Diabetes and Metabolic Diseases Research Center at the BWH Biomedical Research Institute)
 2013年 第10回 井村臨床研究奨励賞(公益財団法人 成人血管病研究振興財団)
 2019年 徳島大学医歯薬学研究部長表彰(徳島大学)

南野 徹先生 順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科 教授



略歴:

1989年 千葉大学医学部卒業
 1989年-1991年 千葉大学医学部内科研修医
 1991年-1992年 国立習志野病院内科医師
 1992年-1994年 東部地域病院循環器科医師
 1994年-1997年 東京大学医学部研究生
 1997年 医学博士号取得(東京大学)
 1997年-2000年 ハーバード大学医学部リサーチフェロー
 2000年-2001年 帝京大学医学部第3内科助手
 2001年-2009年 千葉大学大学院医学研究科循環器病態医学助教授
 2007年-2011年 科学技術振興機構さきがけ研究者(兼任)
 2010年-2012年 千葉大学大学院医学研究科循環器病態医学講義師
 2011年-2015年 科学技術振興機構さきがけ研究者(兼任)
 2012年-2014年 文部科学省学術調査官(兼任)
 2012年-2020年 新潟大学大学院医学総合研究科循環器内科教授
 2015年- 北里大学大学院客員教授
 2017年-2018年 新潟大学医歯学総合病院検査部部長(兼任)
 2018年- 日本学術振興会学術システム研究センター研究員(兼任)
 2019年-2020年 新潟大学医歯学総合病院副院長(兼任)
 2020年- 順天堂大学大学院医学研究科循環器内科教授

受賞歴:

2001年 日本臨床分子医学学会学術奨励賞
 2002年 日本心臓病学会YIA優秀賞
 2002年 日本心臓血管内分分泌代謝学会YIA
 2003年 岡本研究奨励賞
 2007年 日本心臓血管内分分泌学会高峰謙吉研究奨励賞
 2010年 日本循環器学会佐藤賞
 2010年 ベルツ賞(1等賞)
 2011年 日本医師会研究奨励賞

編集委員:

Academic Editor of PLOS ONE
 Associate Editor of Aging and Mechanisms of Disease
 Associate Editor of Circulation Journal
 Associate Editor of Journal of Cardiology
 Editorial Board Member of Journal of Molecular Cellular Cardiology
 Editorial Board Member of International Heart Journal
 Editorial Board Member of Internal Medicine
 Editorial Board Member of Anti-aging Medicine

所属学会:

日本内科学会(評議員・支部長)、日本循環器学会(FJCS・評議員)、American Heart Association(FAHA)、European Society of Cardiology(FESC)、Asian Pacific Society of Cardiology(FAPSC)、
 日本心臓血管内分分泌学会(理事)、日本血管生物医学学会(理事)、日本抗加齢医学会(副理事長)、日本心臓血管作動物質学会(理事)、日本腫瘍循環器学会(理事)、日本心臓病学会(FJCC・理事)、
 International Society of Heart Research(理事)、日本脈管学会(評議員)、日本老年医学会(代議員)、日本動脈硬化学会(評議員)、日本高血圧学会(評議員)、日本心不全学会(評議員)、
 日本心臓リハビリテーション学会(評議員)、日本肺高血圧学会(評議員)、日本臨床分子学会(評議員)、日本不整脈心電学会、日本心臓血管インターベンション治療学会、日本分子生物学